

さめき水田営農だより

平成25年産米の生産数量目標の本県への配分が決定しました

毎年、国は、各県の需要実績に、生産調整への取り組み状況など一定の配慮を行い、翌年度に生産する主食用米の生産数量目標を都道府県に通知しています。

今年も平成24年11月29日に、国から都道府県に対し、平成25年産米の生産数量目標が示されました。



香川県の25年産米の生産数量目標

区 分	平成25年産米	平成24年産米	24年産対比	参考) 営農計画調査の結果	
				水稻作付計画	25年産米生産数量目標対比
香川県 (面積換算値)	73,490トン (14,730ha)	72,450トン (14,520ha)	1,040トン増 (210ha増)	15,361ha	631ha
全 国 (面積換算値)	791万トン (150万ha)	793万トン (150万ha)	2万トン減 (-)		

全国では生産調整が強化されましたが、本県では需要実績が拡大したことから、24年産に比べて1.4%の増となりました。

需要実績は、県産主食用米が1年間にどれだけ売れたかによって算定されます。

県産米の消費拡大が需要量に直結しますので、他産業の消費者だけでなく、農業者の皆さんにも、さらにたくさんのお米を食べていただくとともに、「売れる米づくり」を進めていきましょう！

市町毎の生産数量目標は、香川県農業再生協議会（有識者等で構成）の意見を聞いて、平成24年12月末までに市町に配分されます。

今後、各地域では、県からの配分を受けた後、地域農業再生協議会が決定する農業者毎の生産数量目標の設定ルール（配分方法）に基づいて、生産調整方針作成者であるJAから農業者の皆さんに配分されます。

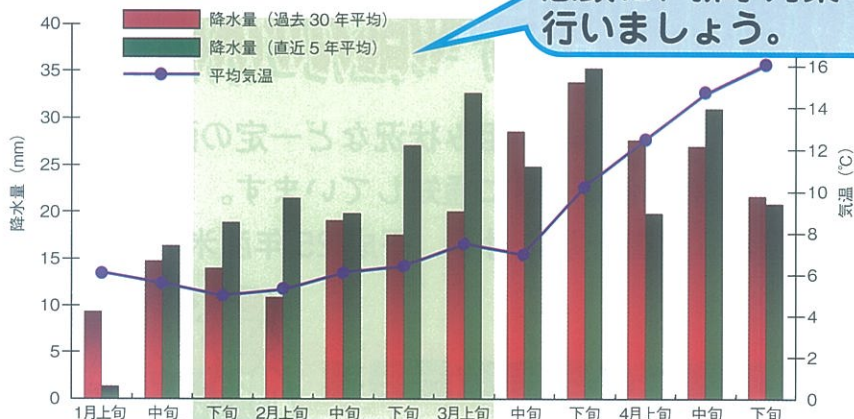
生産数量目標以上に水稻を生産する場合、生産数量目標の外数として生産できる「新規需要米（飼料用米、米粉用米、WCS用稲）」や「政府備蓄米」（いずれも出荷先との事前契約等が必要です）を作付けすることができます。生産数量目標の内数の主食用米については、米の所得補償交付金（1万5千円/10a）の交付の対象となります。



農業者戸別所得補償制度のメリットを受けられるよう、引き続き生産調整を実施しましょう！

せっかく播いた麦 確実に実らせ、収穫しましょう！ 排水対策の徹底と基本技術の再確認。

1. 排水対策



「昔に比べて冬場に雨が多くなっている」ことを念頭に、排水対策の徹底と、的確な管理作業を行きましょう。

土入れや追肥をする時期
(1月下旬から3月上旬)の

降水量は直近5ヶ
年が平年値を上回
り、特に2月下旬
から3月上旬が多
くなっています。



2. 雑草防除

雑草が繁茂すると、収量が大幅に低下するだけでなく、麦の品質低下を招きます。
中期除草剤等により雑草防除に努めましょう。

対象雑草名	薬剤名	使用時期／回数	使用量(10アール当たり)
一年生広葉雑草 及び スズメノテッポウ	ハーモニー75DF水和剤	麦3葉期～節間伸長前 (スズメノテッポウ5葉期まで)／1回	5～10g
畑地一年生 広葉雑草	アクチノール乳剤	1年生広葉雑草の発生揃、2または3節期 (穂ばらみ期まで)／2回以内	100～200ml

～除草剤使用にあたっては、散布方法、注意事項を確認して農薬の飛散防止に努めましょう～

3. 追 肥

施肥が少ないと収量が低下しますが、多すぎると倒伏や品質低下を招きます。
特に追肥がその後の生育や収量に大きく影響しますので、生育に応じた適正な施肥に努めましょう。
追肥時期と施肥量の目安(基肥一発体系を除く)

品 種	追肥時期	施肥量(10アール当たり)		肥料名 (いずれかを使用)
		砂質田 (水はけのよい土壌)	粘質田 (水はけの悪い土壌)	
「イチバンボシ」	2月下旬～3月初旬	20kg	25kg	硫加燐安402 朝日BB488 PKセーブ488
「さぬきの夢2009」	2月中旬～3月上旬	25kg	30kg	



○土入れ作業

播種時に設置した排水溝は、降雨などにより溝が埋まり、排水が十分に行えなくなります。

排水溝の補修・点検を兼ねて土入れをし、排水を図りましょう。
麦の生育状況や土壌水分に応じ、適切な時期に土入れ作業を行ってください。

なお、追肥直後に土入れを行うと追肥効果が高まります。



●お問い合わせ先／

香川県農協中央会指導部指導課
香川県庁(香川県農政水産部農業生産流通課農産グループ)

TEL:087-825-2503
TEL:087-832-3418